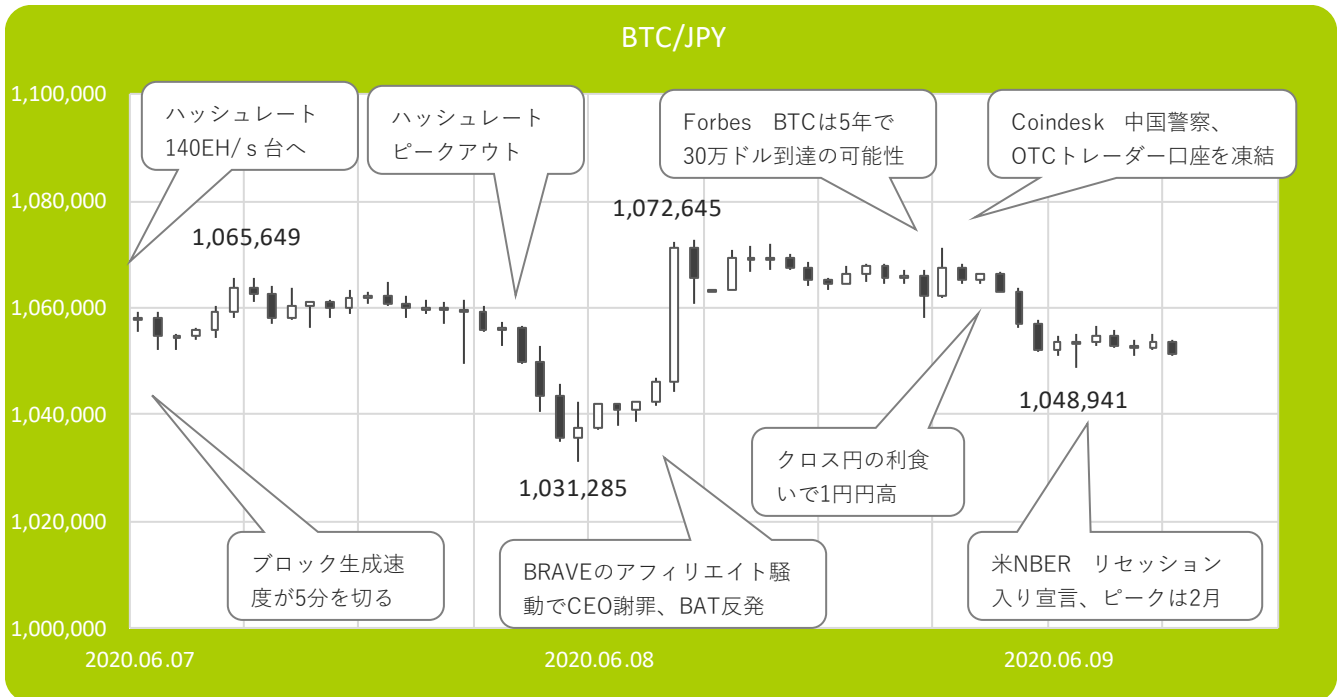


【盛り上がり欠くビットコイン相場、昨年との比較】



通貨	BTC	ETH	XRP	BCH	LTC
価格	1,053,682	26,353	22.0	27,477	5,017
前日比	▼1.1%	▼0.1%	▼0.2%	+0.0%	▼0.9%

Review

ほぼ横ばい

昨日のBTC相場は引き続き高値圏でもみ合い。朝方、103万円台から107万円台へ軽いショートカバーを見せたが、9800ドル近辺で上値を重くすると、円高の影響もあり105万円台へ値を下げている。一時、過去最高水準に近づいていたハッシュレートがピークアウトしたこともあり103万円台に値を下げていたBTC相場だが、朝方107万円台まで反発するも、殆ど目立った材料もない中、上値を重くしていった。その後、ハッシュレートは100EH/sを割った水準から反発を見せるも市場の反応は限定的となり、ここまで上昇を続けていたクロス円の巻き戻しにより約1円円高が進む中、円建てのBTC価格は105万円近辺に下落している。広告をコントロールできるブラウザBRAVEでアフィリエイトへの誘導が隠されていた疑惑でCEOが陳謝、前回アルトの上昇を先導したERC20トークンBAT価格が反発したが、ETHなど相場に与える影響は限定的だった。

Outlook

きっかけの候補は？

本日のBTC相場は堅調な展開か。1万ドルを前に決め手に欠ける展開が続くBTC相場だが、コインマーケットキャップによれば6月に入ってから1日の出来高も270億ドル台と3月から5月の400億ドルか3割以上減少しており、半減期後の売り圧力は後退したが、材料不足で買いの勢いにも欠ける状況を表しているか。昨年も5月半ばに90万円台に到達してから100万円突破まで1か月強、要しているが、その時の材料は米欧の金融緩和、人民元安、香港情勢の悪化、リブラの登場などだった。まずは今週木曜日早朝の米FOMCに注目か。

著作権表示@2020 FXcoin 株式会社

本レポートは一般的な情報提供を目的に作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。レポート内のいかなる情報又は意見も、仮想通貨の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではありません。本レポートは予告なしに内容が変更されることがあります。本レポートは著作物であり、著作権法により保護されております。当社の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家へ配布することはできません。